

- 1 会議名 公共施設再配置検討協議会
- 2 日時 令和4年7月20日(火)午後1時10分から午後1時28分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 説明員 総務部長 中村定秋、行政課長 佐野剛、同主幹 井手上豊彦、同主任 後藤大輔、子育て支援課長 西井上剛、同主幹 佐久間喜代彦
- 6 事務局 議会事務局長 丹羽至、同主任 高野真理子
- 7 会長あいさつ
- 8 総務部長あいさつ
- 9 報告事項

(1) 公共施設点検の実施時期について

行政課長：資料に基づき説明。公共施設の点検については、長寿命化計画を推進するため、担当課の職員と建築士の資格のある技術職の職員とで毎年定期的
に実施している。令和4年度から実施時期を変更した。ただし4年度に限り、
前回の点検結果のC判定の箇所について、担当課で劣化状況を確認し、早けれ
ば第3次の実施計画に計上していく。

【質疑】

大野会長：令和5年度からということで、今年は11月から2月での点検は行
うのか。

行政課長：今年度も行う。

(2) 岩倉市公共施設再配置計画案の今後のスケジュールについて

行政課長：資料に基づき説明。(1)については、令和2年度に希望の家の譲渡に
関するアンケートを社会福祉関係事業者に行った。検討するとの回答のあつ
た事業者のうち希望した3つの事業者に、希望の家を見学してもらった。様々
な意見をいただき、課題の把握に努めた。4年度の計画は、譲渡に向けて課題
の整理、解決方法、譲渡条件、募集条件等の検討、策定を行う。(2)について
は、令和4年3月末に北小学校屋内運動場等複合施設の本体工事が完了し、令
和4年度は複合施設の第2期工事ということで、市立体育館の取り壊し、屋外
トイレや外構工事の実施を進め、事業の完了を目指す。(3)については、令
和3年度は統合保育園候補地の選定ということで、具体的には住民説明会、保
育園父母の会連絡会の役員への説明を行い、出された意見を反映しパブリッ
クコメントの実施をした。そして候補地の選定を行った。4年度は、統合保育
園の建設候補地の決定、用地交渉、基本構想を策定するための市民会議の開催
と、基本構想の策定になる。(4)については、3年度は協議会で審議していた

だいたが、東小学校の大規模改修時の規模縮小に係る工法の検討や、要する費用の算定など、全体事業の精査を行い、実施時期の再検討を行った。大規模改造時に施設の一部を市民に開放するに当たり、活用方法について4年度から検討する。東小学校の大規模改造は令和9年の予定。施設の規模縮小は令和27年で、先般の協議会でご審議いただいた。

【質疑】

梶谷議員：北部保育園と仙奈保育園を廃止した跡地はどうなるのか。

行政課長：令和6年度を目途に検討を進める。

(3) 五条川小学校区統合保育園基本構想策定支援業務について

子育て支援課長：プロポーザル選定委員会で参加表明者に対してプレゼンテーション、ヒアリングを実施した。選定に当たっては、岩倉市の子育て支援の現状についての理解、また、基本構想策定に対する基本的な考え方や実現性、独自性、環境への配慮、検討委員会への運営支援などについてのプレゼンテーションの結果、(株)デザインボックスに決定した。今後、五条川小学校区統合保育園検討委員会を開催するが、現在のところ当初予算での説明の通り年4回、場合によってはワークショップの開催を事業者と詰めていく。第1回は8月31日の開催で調整中。

【質疑】

黒川委員：(株)デザインボックスという会社は初めて聞いた。会社概要は。また自治体との事業実績があるのか。通常の評価方式での決定でなく、プロポーザルでの選定とのことで、応募は何社あったのか、経過について説明を求め。

子育て支援課長：参加は2社だった。岐阜市にある事業者で、愛知県内では公共施設での実績はないが、岐阜県内の保育園や統合園での実績がある。

大野会長：個人的に調べたが、関ヶ原古戦場記念館、岐阜市のぎふ木遊館を設計している。保育園の設計も数多くある。

子育て支援課長：明応保育園、糸貫東幼稚園など。また、保育園ではないが、笠松の新こども館については、市民とワークショップを開きながら設計を進めた実績がある。

(4) その他

なし

10 その他

なし